

2008年  
11月10日  
第273号



〒143-0023 東京都大田区山王4-21-5  
山王ハイツ101  
Tel. NTT 03-5743-2562 FAX 2570  
J R 058-4502 (FAX兼)  
Eメール jrroukairou@yahoo.co.jp

J R 東 海 労 働 組 合  
発 行 人 鈴 木 富 雄  
編 集 人 加 藤 光 典

http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

# デッチ上げの「つじつま」も崩壊!

## 加藤民事裁判 第7回口頭弁論

10月28日、加藤民事裁判第7回口頭弁論が名古屋地裁で行われました。裁判には、JR総連やJR貨物労組の仲間も含め90名が結集しました。

今回は、原告加藤誠二さんと被告会社から山口蒲郡駅長、中村東海鉄道人事課長(共に当時)の証人尋問が行われました。

会社側は、中村、山口証言により、加藤さんが問題の文書を窃取したということを立てるために、四苦八苦していました。すべて憶測を証言したに過ぎませんでした。山口駅長などは、犯行があったとされる1月15日16日にかけての深夜、古田助役による管理者用書庫の錠錠状況などについて質問されると、しどろもどろになり、当日の様子については一切証言ができませんでした。

また、加藤さんに対する質問では、監視カメラの映像を基に、何をしているところなのか執拗に質問するなど、「窃盗」事実を証明しようとしたが、写っていない部分を憶測に基づいて証言させようとするあまり、思うようにいかず、逆につじつまが合わなくなる始末でした。

これで、会社がつくり上げた、加藤さんが「窃取した」という犯行ストーリーが一気に崩壊したことになります。次回2月17日は、いよいよ結審となります。



品川駅前にある「京品ホテル」は、事前に従業員に説明なく10月20日をもってホテル、飲食店などを廃業し、全従業員を解雇することを決定しました。従業員が加入している労働組合・東京ユニオンは、現在仮処分申請と共に、団体交渉を強化し解雇無効と営業継続を求めて闘っています。



## 東京ユニオンを激励! 「京品ホテル」廃業・全員解雇は不当!

私たちは10月22日、理不尽な経営陣と闘い、労働者の権利と生活を守るために奮闘している仲間たちに敬意を表し激励を届けつけました。東京ユニオン渡辺委員長は、「自主営業に向けて組合員と共に奮闘している」「皆さんの激励を力に頑張る」と決意を述べられました。経営者の横暴を許さず、闘う仲間には支援を申しあげていきたいと思います。



原因不明なのに妨害説? 10月23日、新幹線浜松工場の引き込み線で脱線事故が発生し、踏切を4時間ふさがりました。会社は27日、ホームページで事故の原因について「浜松工場に入線する分岐器(内方分岐器)において、分岐器先端のレール摩耗の進行により、車輪がレールに乗り上げたため」と明らかにしました。ところ、新幹線各職場では、事故の当日社員に対して、「妨害的要素は否定できない。列車妨害に警戒し、不審者・不審物には特段の注意を払うように」と、注意喚起が促していました。あたかも脱線事故が「列車妨害によるもの」とでも言わんばかりの対応でし

## 10月23日に起きた 浜松工場脱線事故



た。 福知山線脱線転覆事故のとき、事故直後にJR西日本幹部が「置き石の可能性がある」と、写真を公開し、列車妨害説を流布しました。自社の責任を他に責任転嫁しようとする体質は、東海も西も同じです。 私たちは、安全確立のために、チェック機能を強化し、闘いを進めま

## 浜松工場新幹線脱線事故

## 不当弾圧・デッチ上げを許さず 社員が働きやすい職場を創ろう!

### シュプレヒコール和解裁判

### 「ユニオンの主張が認められた」はウソ!

11月6日、JR東海ユニオン水嶋委員長に対し、「社会的評価を低下」させ名誉毀損であるとして、9月17日に提訴していた「シュプレヒコール和解裁判」の第1回口答弁論が開催されました。

2007年10月31日、東京地方裁判所は「東海会社をつぶせ」と連呼しデモ行進をしたとするJR東海ユニオン情報は事実と反するとして、私たちの請求を認める勝利判決を下しました。しかしJR東海ユニオンは不服として控訴していましたが、「表現に適切さに欠く」「遺憾の意を表わす」といった内容を受け入れ、2008年5月20日に和解が成立しました。

しかしJR東海ユニオンは、組織情報等で「全面的和解」「ユニオンの主張が認められた」と全くウソの和解内容を掲載しました。

「東海会社をつぶせ」はデッチ上げでありウソであったことが裁判で明らかになっています。私たちは、JR東海ユニオンの事実をねじ曲げたごまかしを許しません。

### 反処分・反テロ裁判結審

また同日、「反処分・反テロ裁判」の口答弁論が開催され、東二運分会尾崎副分会長が意見陳述を行い結審しました。

「シュプレヒコール和解裁判」の第2回口答弁論は12月25日。「反処分・反テロ裁判」は1月15日に判決となります。

JR東海による不当な弾圧を跳ね返し、JR東海ユニオンによるデッチ上げを許さず、社員にとって働きやすい職場とするために奮闘しましょう。



# えん罪NO! 7名は無実だ!

## 不当判決を覆し控訴審に勝利する11.1大集会

日比谷野音に5500人が結集



デモ行進、東京第一・第二運輸所に向けて  
不当日勤反対のシュプレヒコールを行う仲間たち!



11月1日、日比谷野音音楽堂でえん罪NO! 7名は無実だ! 不当判決を覆し控訴審に勝利する11.1大集会が開催され、5500名の仲間が結集しました。

6年前の11月1日、美世志会の7名は、警視庁公安2課による強要事件のデッチ上げによって不当逮捕されました。この怒りを決して忘れず、権力犯罪が仕組まれたその狙いをあらためて捉え返し、控訴審の勝利を職場から、地域から勝ち取ることを集会において確認しました。

主催者を代表して、JR東労組千葉委員長は、「逮捕から丸6年を向かえた。不当弾圧を許さないうちに、12月15日からの控訴審で、1審判決を何とかしてもひっくり返す。我々の団結によって、弾圧攻撃の6件のうち4件は不起訴を勝ち取ってきた。政権交代を含め、反転攻勢の闘いをしていく。引き続き支援連帯をお願いする」と訴えました。

集会後はデモ行進を行い、権力や会社の不当性を通行する市民の皆さんに訴えました。

また、デモ行進の途中、東京第一、第二運輸所の前では、不当に日勤に下ろされている仲間に対して、激励と連帯のシュプレヒコールも行われました。

美世志会からの決意表明



小黒さん

控訴審の闘いを最先頭で頑張る。6年前は雨の日であった。小池裁判長、マスコミ、我々を利用した労働組合、この者たちと闘っていく。これまで仲間と家族を信じて闘ってきた。自分自身に決して負けない。解雇を撤回しろ!



山田さん

6年前、1人ぼっちで逮捕された。あれから6年は長かった。南浦和で、広域異動できた先輩の最終乗務に立ち会った。先輩が「一番の心残りには浦和の冤罪事件です」と言ってくれた。今まで以上に気を引き締めて闘っていく。



斉藤さん

メッセージを受け取った。元氣と勇気を皆さん

からいただいた。込み上げてくる怒りを、6年たったが今でも覚えている。私がこの場に立っているのは皆さんのおかげである。吉田を無視していたら事件はなかったのかもしれない。しかし、吉田がグリーンユニオンに連れて行かれる危機があったし、攻撃は止まない。人生をめちゃくちゃにする冤罪を許さない。これからも共に闘ってください。



上原さん

控訴審で我々の完全勝利を目指していく。6年が長くつらかった。しかし、多くの仲間の皆さんと闘ってきた。今一度浦和事件を職場の中で議論をしてほしい。これから共に闘いましょう。



八ツ田さん

6年に及ぶ闘い、ありがとうございました。6年前は雨だった。自分の未来がなくなり、何もかも信じられなかった。し



大潤さん

かし、仲間からの激励によって耐えることができた。あたりまえの職場活動を冤罪にしたことを許さない。世論に訴え無罪を勝ち取る。



築次さん

6年前の11月1日を思い出している。拘留所で2人の仲間の顔を見て、先輩として頑張らなければと思った。我々の団結は強くなった。浦和事件の発端をとらえ返していく。「東労組は、内から壊れないから外から壊す」このような内容と質を持った攻撃である。後藤先生が、法廷外の大衆的な取り組みが勝利を勝ち取るとおっしゃられた。しっかりと闘う。

6年前、逮捕されたとき、私は「デッチ上げ」と叫んだ。東労組を半分にてやると言われた。しかし今はどうか、逆に前進している。袴田さんはい42年間無実を叫んでいる。多くの冤罪が日本にはある。社会正義のためには堂々と闘っていく。